

子どもとおもちゃ

園長 山中 文

早いもので、もう師走です。

幼稚園では、クリスマスツリーを飾ったり、マフラーを編んだり、コマをまわしたりと、すっかり冬の遊びになりました。

年少さんとコマをまわして遊びました。年少さんのことですから、まだひもを巻き付けたりするのではなく、手でまわします。コマは、色付けしていない木製のシンプルなものです。自分たちで丸い部分にクレヨンで色付けしていて、いろいろなコマができあがっています。薄茶色に塗ったコマをまわすと、ほんのりピンク色の輪が見えたり、ぐるぐると赤や緑で描いた上に縦に黒い線を入れるという面白い塗り方をしているコマは少しダークな輪になったり、青と緑にわけてしっかり描いたコマはくっきりと青と緑の輪が見えたり、といったように、コマの元の色とまわった時の色の違いが面白くて、何人かで幾度もまわしました。

まだまわす手もおぼつかないので、うまくまわるとそれだけでにっこり笑顔です。何人も一緒にまわし、きれいだねえと言ったり、誰のが一番長くまわったとかで大喜びしたり、誰のが一番まわると思うか予想をしてはわくわくしたりと、何度まわしても飽きませんでした。そのうち、長い髪の女の子の髪の毛がコマに巻き付いて、クルクルっとなりました。そうすると、それにも立ち上がって手を打って喜びます。短い髪の毛の男の子が真似をしようとして、「短いとだめなんだよ」と発見(!?)もできました。

膝をついてコマをまわし、寝そべるようにしてコマを眺め、まわったまわったと言っては立ちあがって喜び……。これだけのことでこんなに楽しく遊べる子どもたちはすごいな、そして、こういう時間が子どもたちには大切だなと思います。

現代の子どもたちは、遊び込めないとと言われることもありますが、そんなことはありません。構造がシンプルで、何度もそれを自分が動かして繰り返せて、そのたびに変化や工夫を見つけられたり、子どもたち同士で共有することができたりするものにはとても集中します。それは幼児期の中に経験して伸びることとしてとても重要なのです。

おもちゃの売れ行きが伸びる季節になりました。おもちゃには、子どもたちが一瞬目を輝かせて大喜びするけれど全部機能が備わっているものと、何のへんてつもないけれど自分で動かして工夫して遊ぶうちに目を輝かせるようになるものがあります。前者にはたくさん目がいくことと思いますが、後者の面白さもぜひ伝えてあげてくださいね。

年長の子どもたちが、自分たちで材料を選んでクリスマスツリー飾りをつくりました(写真)。それぞれに味のある飾りになりましたよ。

よいお年をお迎えください。

